

二〇二二年度

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は **1** のみで、5ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は**四十五分**間です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 **受験番号・氏名**を問題用紙と解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

聖徳学園中学校

受 験 番 号				

氏 名

1

次の文「**文章1**」と「**文章2**」を読み、あとの問題に答えなさい。

(*印のついている言葉には、本文のあとに「注」があります。)

文章1

誰かがやらなくてはならない絶対必要な仕事なのだけども、それをやっても達成感が得られるわけでもなく、賃金が払われることもなく、社会的敬意が向けられるわけでもない、「雪かき」のような仕事がある。そんな「雪かき仕事」をする人が、村上春樹の本には必ず出てくると言う。そういう仕事をする人が、人間世界の秩序を保っているのだということを出させてくれる。

誰もが意味のある仕事をしたい。でも、仕事の意味とは何なのだろうか。

「他人にほめられること」や「すごいと思われる」ことが目的だろうか。

「忙しい、忙しい」と言う人の伝えたいメッセージは、たいていの場合「私は仕事をいっぱい頼まれる重要な人物なんですよ」か「私は頑張っています、ほめてください」のどちらかだ。どうしてみんな、これほど「ほめられたい」人になってしまったのだろうか。

実際、ほめてほしい人の欲求は、とどまるところを知らない。提案書を自分でつくりました、ほめてください。お客さんに一件、提案に行ってきた、ほめてください。ほめてほしい部下は、ほめてくれる上司を「いい上司」だと思ふ。相互依存ペアの出来上がりである。彼らは気持ちよく仕事をや

っているかもしれないが、何も生み出さない人たちだ。

「ほめられたい症候群」の人たちと、「雪かき仕事」をする人は、対極をなしている。前者は役立たないものであっても、ほめられる仕事ならやる。後者はほめられないけれど、必要な仕事ならやる。

もしひとりで会社をやっているとしたらどうだろう。もちろん掃除も自分でするだろうし、営業活動、契約書作成、経理処理、どれもおろそかにできない。でも、大きな会社の一員になると、なぜか「意味のある仕事をやらせてくれ」となる。つまり「かっこいい仕事をやらせてくれ」と。

あなたの会社の中での、「雪かき仕事」は何だろうか。誰がやってくれているのだろうか。あなた自身は、雪かき仕事を面倒で評価されない仕事、と切って捨ててはいないだろうか。もしそうなら、明日からさっそく、意識して職場の雪かき仕事をやってみよう。何かが変わるはずだ。

朝一番に職場に着いて、ホワイトボードをきれいに消して、マーカーが使えるかどうかを確認する。色の出ないものは捨てて、新しいものを並べる。不足していれば、発注する。朝一番に会議があつたら、「議事録とります」と言つてパソコンでメモをとる。会議終了後は、すぐに完成させて参加者全員に送信する。

周囲の同僚に「何か手伝うことある？」と声をかける。「君、もしかしてヒマなの？」などと聞いてくるだろうが、笑顔で「何かあつたら言つてね」と立ち去る。

「あ、今度のイベントの案内、誰も作つてないから、やっといいてくれる

と嬉しいけど」こんなふうには、誰かが遠慮がちに頼んでくるかもしれない。きっと、その仕事に取り組むあなたを周りはおそろおそろ眺めているに違いない。あいつ、どうしちゃったんだ？ なにか裏でもあるのか？ と。もちろん、あなたには何も裏はない。ただ、雪かき仕事をしているだけだ。毎日こんな具合で手伝っているうちに、「だったらこれもお願い」という声が増えてくる。

そのうち、誰かが気にして尋ねてくるだろう、「君の仕事のほうは、大丈夫なの？ よかったら、手伝おうか」と。「じゃあ、一緒にやってくれかな」とあなたは答える。あなたが朝きれいにしたホワイトボードの前に2人が座って議論を始めると、いつの間にかひとり、2人と、議論の輪に加わってくる……。

そんなドラマみたいなことが起きるわけじゃないか、と思うだろう。それはやってみてから言ってほしい。きっとあなたは驚くはずだ。なぜなら、地味で目立たない雪かき仕事をやると、逆に「ものすごく目立つ存在になる」からだ。そう、私が伝えたかったのはそこである。

雪かき仕事は、本来、誰にもほめられないけれど大切な仕事、という意味であった。でも、そんな仕事を今の組織風土の中で自分からやる人は、絶滅危惧種なみの少なさだ。だから逆に目立つ。逆説的なことであるが、ほめられたいなら、雪かき仕事をしたらいい。ただし、黙々と。

(野村恭彦『裏方ほどおいしい仕事はない!』による)

〔注〕

賃金 ——— 行った仕事に対して支払われるお金。労働の対価。
対極 ——— まるで正反対であるさま。
経理 ——— 会社における会計や給与に関する事務のこと。
議事録 ——— 会議で話し合われた内容を記録したもの。
風土 ——— ある地域や集団の中に存在する文化や環境のこと。
絶滅危惧種 ——— 絶滅のおそれがある生物種のこと。

文章2

映画撮影所の小道具係として働く隆之さんは、撮影中の事故により出演俳優と映画監督を怒らせてしまったことが原因で仕事を辞めようかと考え、仕事の先輩であるヨネさんに相談し始めた。

「多摩川に向かって、こうやって何度石を投げたかわからないな」

前を歩いてきたヨネさんが立ち止まったのは、布田の堰の広大なワンドが見えてきたところだった。ヨネさんはランプポストの近くで小石を拾うと、真つ暗な水面に向かってサイドスローで投げこんだ。隆之さんは無言でそのヨネさんを見ていた。

「ここは広いからな。向こう岸まで石が飛ぶこともないし。なあ」

「はあ」

「しかし、お前、しゃべらないな。なんで？」

「俺が入った時、ヨネさん、最初に言ったじゃないですか」

「なんて？」

「思ったことは口にするな。言いたい順に封をしろ。それが裏方だって」

「だったら今日は許すよ。あの俳優への怒りはともかく、なんでお前がそんなにへこんじまったのか？ それはいつたい……」

「うまく言えないです」

言えないだけで、隆之さんは胸のうちにいくらでも言葉を抱えていた。

ヨネさんと土手を歩き、丸く曲がった背中を見続けてから、その思いはさらに強くなっていた。

ヨネさん。あなたが背中を丸めて石を拾うからだ。オーバースローではなく、そうやって横から投げるからだ。いつもそうだ。あなたは低く構える。

あの俳優に謝り続けた時もそうだった。しかもそれは、どれだけ働いても、上にはなにひとつ言い返すことができない俺の将来の姿でもあるのでしょうか？ 俺は映画が好きだったんですよ。現場の熱気に憧れていたのは確かです。縁の下の力持ちに徹しようと思ってきました。でも、裏方って、ずっと裏方なんです。人としても裏方に徹しなければならぬんです。心を封じなければいけないんですね。一生ですか？ 一生どうですか？ 母親に見せられないのは撮影所ばかりじゃないです。この俺自身もそうですよ。そのことが俺は、とてつもなく恐ろしくなってきました。ヨネさんは、そんなふうにしたことは無いんですか？ 悔しくないんですか？ それでいいんですか？

「俺、撮影中におふくろに逝かれてな」

ヨネさんが石を投げながら、そうつぶやいた。隆之さんが初めて耳にする話だった。

「ちょうど組合が本社とぶつかった頃で、でも、撮影を止めるわけにはいかないから、何人かでスト破りみたいなことをやっちゃってね。小道具は俺一人よ。てんばって現場に入っていたんだね。おふくろの死に目には会えなかった。あとでそれを言ったら、大将からひどく叱られたよ」

昭和の大スターの名前がそこで出た。

「好きで入った世界とはいえ、俺たちは俳優でも監督でもない。見ようによつちや、ただこき使われてるだけだ。親には現場を見せられないなあと思っっていたよ。かみさんにも子供にも見せたくない。若い俳優にあとで使われているところなんてな」

「そうですよ」

隆之さんは声に力をこめた。

「俺も見せられません。おふくろには」

「ところがな、いざ親をなくしてみると、ああ、撮影所を一度は案内しておけば良かったなと思うんだ。親というのはやはり、長く生きているだけのことはある。人の苦勞というものを知っている」

「でも……シヨックを受けるんじゃない」

「俺の息子、小さい頃から野球やっててき、今度高校を卒業するんだ。もうだから、十年近く野球やってるんだよ。だけど、レギュラーになったことが一度もないんだ。俺はそんな彼を見上げたもんだと思ってる」

「それはもちろん、そうです」

「いや、昔の俺ならそうじゃなかった。こんなふうに見えるようになったのは……おふくろの持ち物から、映画のチラシだのパンフレットだのが束で出てきたときからかなあ。ファイルで綴じられていて、俺の名前がマジックででっかく書かれていた。おふくろにとっちゃ、俳優よりも小道具の俺の方が主役だったんだ。俺は、そこで目が覚めた。そうだ、俺は主役だったんだって、初めて思えたよ。この人生のさ」

これほどよくしゃべるヨネさんを、隆之さんは初めて見た。

「タカ、お前今、いろいろあるだろうけど、主役だと思えば、普通の人間なら耐えられない詫び方だってできるもんだ。なあ、だって、主役ってのは……」

そこから先を言わずに、ヨネさんはまた石を投げた。

(ドリアン助川『多摩川物語』所収「本番スタート!」による)

〔注〕

布田の堰

布田は東京都調布市と神奈川県川崎市をまたいでいる、多摩川沿いの地域名。堰は川の流水をせき止めなどするための施設。

ワンド

堰によって囲まれて池のようになった地形。

ランポポスト

街灯柱。柱の上に明かりがともっているタイプのライトのこと。

サイドスロー

野球における投げ方のひとつ。腕を地面と水平に振りながらボールを投げる方法。

オーバースロー

野球における投げ方のひとつ。腕を頭上から振り下ろしてボールを投げる方法。

スト

会社の経営者に対して何らかの抗議をするために集団で労働を放棄する行為。ストライキ。

〔問題1〕 ア「雪かき」のような仕事とありますが、これは**文章2**で

はどのように言いかえられていますか。会話文以外の部分から、五字以上十字以内でぬき出しなさい。

〔問題2〕

イ母親に見せられないのは撮影所ばかりじゃないですとありますが、隆之さんがそのような思いを持ちつつも撮影所の仕事を続けているのはなぜだと考えられますか。十五字以上二十字以内で説明しなさい。ただし、**文章1**の表現も用いること。

〔問題3〕

文章2の隆之さんは、**文章1**の「仕事の意味」をどのように捉えていると考えることができるでしょうか。あなたの考えを四百字以上四百四十字以内で書きなさい。ただし、次の条件と下の「きまり」にしたがうこと。

条件 次の三段落構成にまとめて書くこと

① 第一段落では、隆之さんにとっての「仕事の意味」がどのようなものだと考えるか、自分の意見を明確に示す。

② 第二段落では、「①」の根拠となる箇所を**文章2**から具体的に示し、**文章1**と関係付けて説明する。

③ 第三段落では、「①」で示したものとちがう「仕事の意味」だと考える人にも分かってもらえるよう、その人の考え方を想像してそれにふれながら、あなたの考えを筋道立てて説明する。

〔きまり〕

○ 題名は書きません。

○ 最初の行から書き始めます。

○ 各段落の最初の字は一字下げて書きます。

○ 行をかえるのは、段落をかえるときだけとします。

○、や。や」などもそれぞれ字数に数えます。これらの記号が行の先頭に来るときには、前の行の最後の字と同じますめに書きます。（ますめの下に書いてもかまいません）。

○、と」が続く場合には、同じますめに書いてもかまいません。この場合。」で一字と数えます。

○ 段落をかえたときの残りのますめは、字数として数えます。

○ 最後の段落の残りのますめは、字数として数えません。

